

秩父名所誌

丑

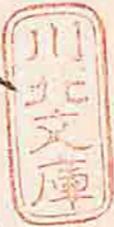
L294  
4

20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5



6707

秩父順拜記巻之八



通志云之孫番源谷之孫を其に二里之孫  
 二町印するの事云々本佛の所記云宗自帝  
 此作と云実を揚子紀の後代と云り多し山れ  
 自之其の所志と所入く記名勢主名勢の事  
 或は左様不釣境なる事しゆの洞中  
 立成梅に園通傳はと申する事  
 自他の記名も  
 能傳らば其の事  
 也

三十番深谷之圖

岩屋























大日向山登口獨木橋 イツボシ



大陽寺之圖

















俵西一也といふては利別ノ首見旅と云俵佐藏  
す又と存之俵と云一ノ藩ノ山内藩番の首  
取監之目也今ノ郡上村と云村の多分寺の  
目光と云一新島の老俵といふ徳川幕政の年  
中奥一して現任と云一

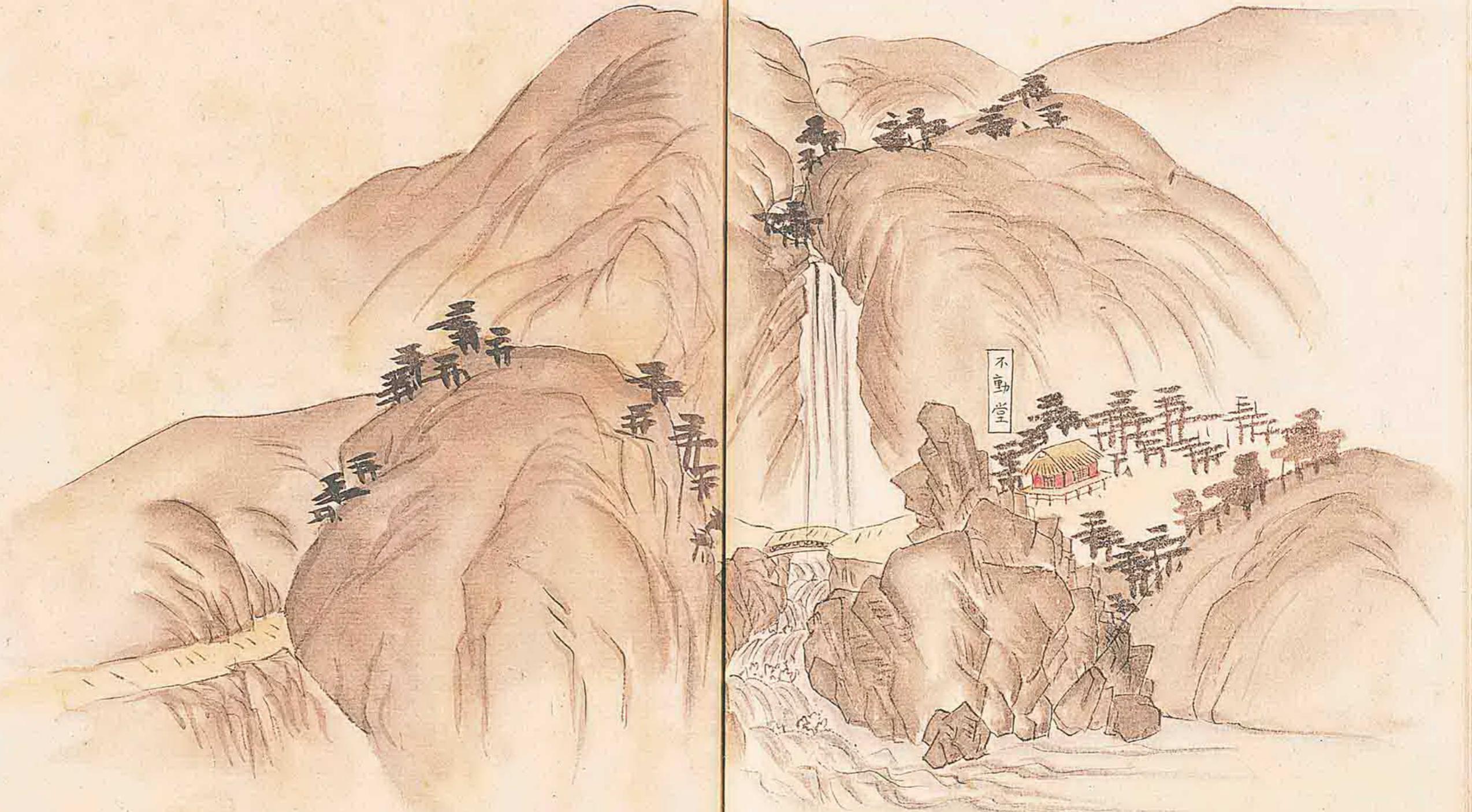
西条鑑云云一ノ山内藩一ノ別  
京都市護国寺と云一ノ山内藩一ノ  
伊集院伊集丹と云一ノ眷属の女と云  
と云一ノ一ノ護国寺と云一ノ  
親世者多と云一ノ山内藩一ノ

亦ノ成徳白と云一ノ俵と云一ノ一里外  
流ノ嶽藏と云一ノ権理と云一ノ大寺院と云  
のりともあつてを御て大寺と云一ノ白山権  
現と云一ノ寺の御と云一ノ御と云一ノ分り也  
里にて野上村と云一ノ移り多分寺に  
新島寺の言宗と云一ノ白と云一ノ御と云一ノ  
に京都市と云一ノ御と云一ノ一ノ山内藩に  
目一ノ山内藩の流と云一ノ一ノ寺と云一  
たりともある此御と云一ノ言宗と云一  
夫人此流と云一ノ山内藩と云一ノ御と云一

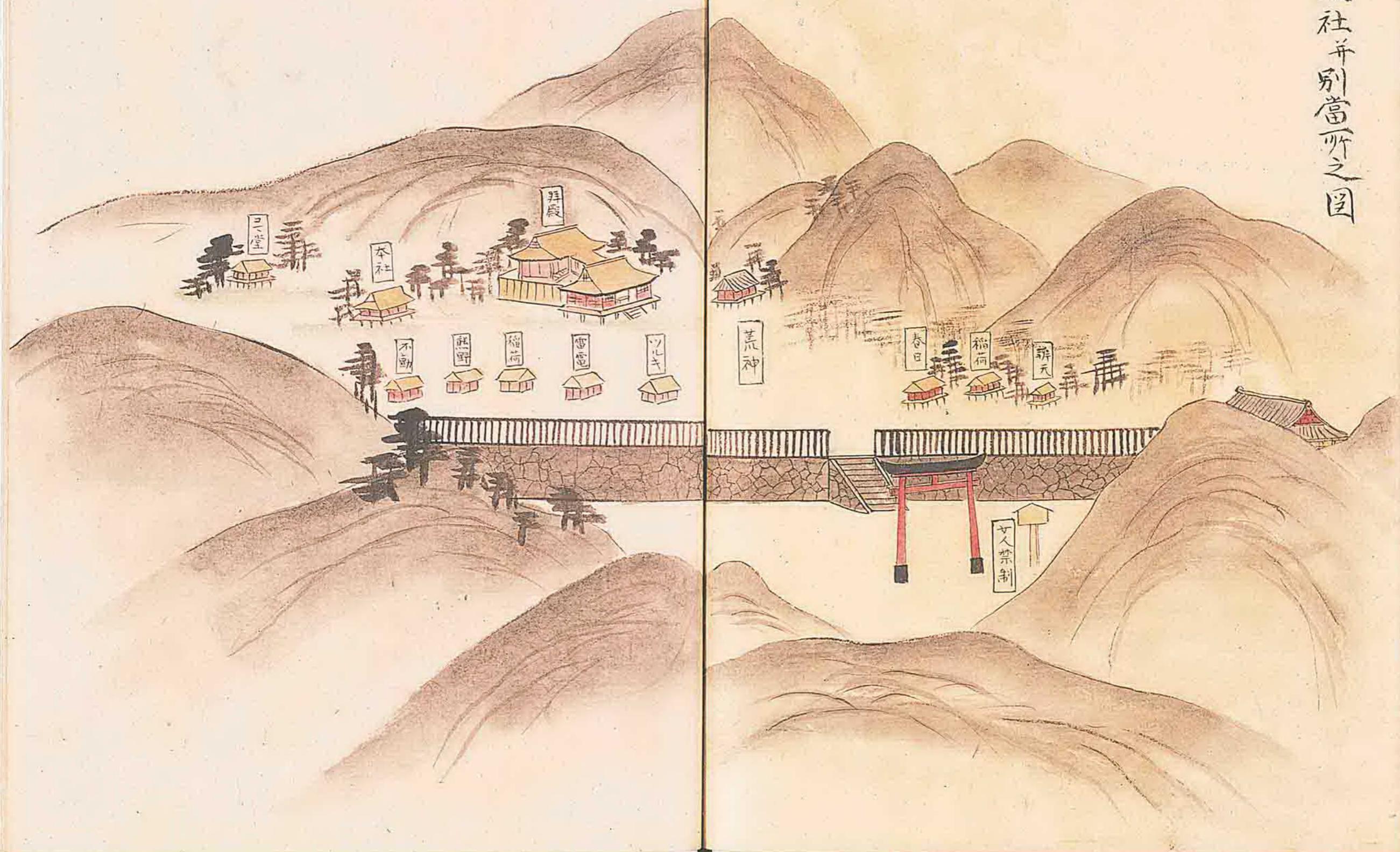
三峯山登口大輪村  
獨木橋

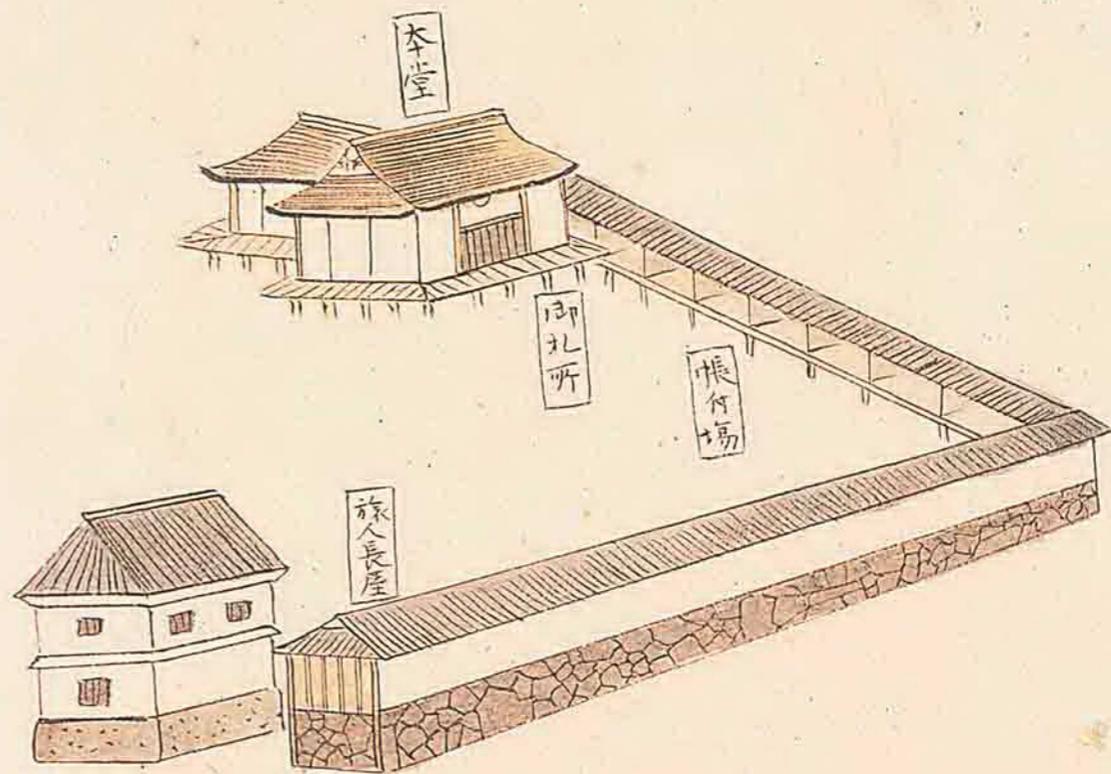


三峯山二十町目  
瀧本行場之圖



三峯山御本社并別當所之図











道とてふりり多々谷川敷底とわら丸  
一たりのありて水巾に出るる等傳ひ  
能く同ありしなり

後文取巻

